

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(8/6)

文：武田、写真：山國、猪川

日時：2020(令和2)年8月06日(木) 9:30～15:00

気象：晴(天狗杉での水銀柱は30℃を指す)

活動エリア：44林班い、東海自然歩道

活動内容：風倒木処理、落枝整理、自然歩道の木段整備

参加者：猪川 誠、石原順子、内海宏一、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、越野雅美、武田壽夫、
中村賢三、宮本 廣、山田真也、山 國 会員13名

<歩道沿いの活動はラッシュを避けて>

ポンポン山への自然歩道は西へ落ち込む山腹に刻まれている。一帯は一昨年台風による風倒木が多い。その荒れた姿は山道を楽しむハイカーの目にもつき易く、中でも**44林班北境から天狗杉を経て本山寺への400m弱の整備は今年度計画の要点**である。特に、最高所の天狗杉付近の倒木は先端を自然歩道脇まで被せていて、いつズリ落ちるかも知れず、処理を急ぐ必要がある。

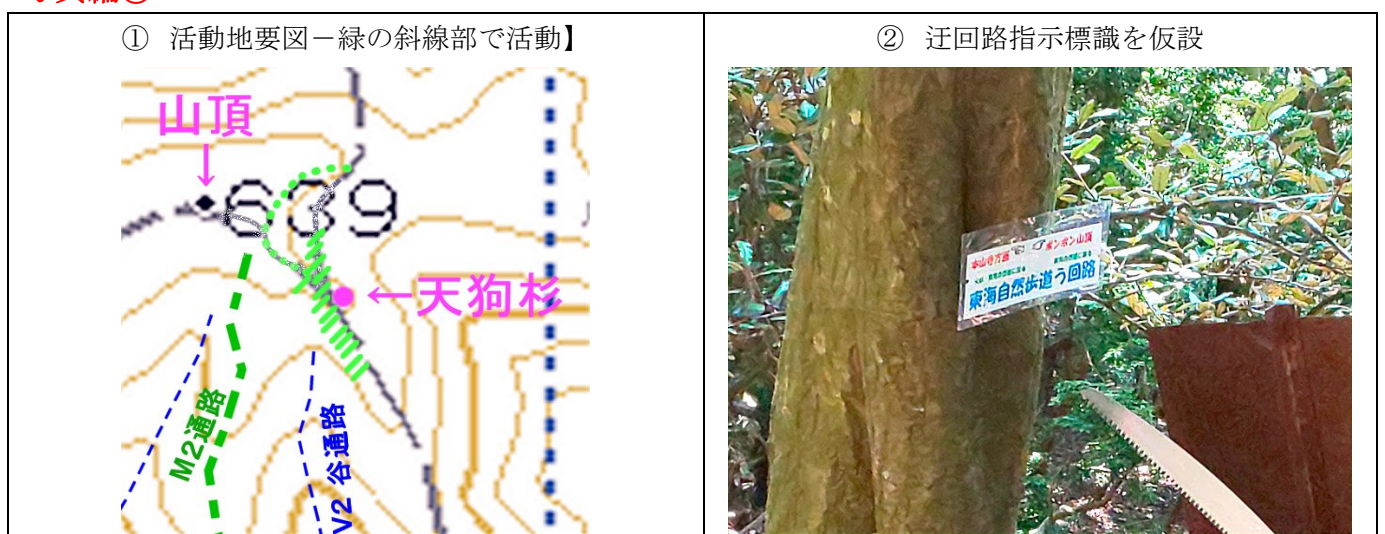
今日はハイカーが少ない木曜日、天狗杉を起点に11名が倒木処理と歩道整備に当たり、二名が歩道の木段整備を担当する。万一のことが無いよう、**迂回路の指導標仮設と案内者を配置→ハイカーの安全には万全を期す**。一同、コロナも困るが熱中症が危険、休憩と給水を心がける。

今日は広島原爆忌、さあればあれ、我ら健やかな森を未来に継がしめんかなの心意気。

<今日の成果>

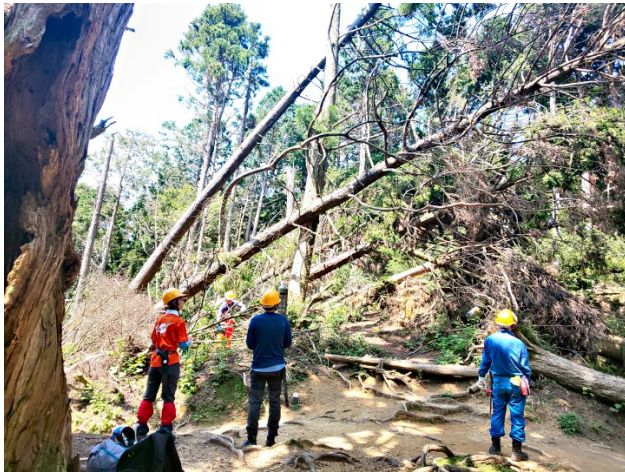
天狗杉の南・西に聳えていた大木の多くは倒れ、以前の天狗の棲家めいた雰囲気はなくなった所為で、直射日光下の作業。作業小屋は26℃、ここは30℃、山中とは思えぬ気温。その悪条件下、幅20m×3～40mの区間の倒木を処理し、適宜、路肩も補強。自然歩道は木段4ヶ所を設置、通り易い場所を増やす。

<写真編①>



<写真編②>

③ 本山寺山へののり：手前二本は難物で後日の処理



④ 今日は奥の風倒木に挑戦(手前は歩道)



⑤ まず根本を切り倒す



⑥ 順次、玉切りする(先端部切り落とし中)



⑦ 処理木を利用し路肩を補強、杭打ち中



⑧ 作業後(道脇のマウンドは④の根起こし跡)



<写真編③>

⑨ 天狗杉南 歩道西側面での活動



⑩ 以前、仮置きした処理木も玉切り



⑪ 歩道に引き上げて路肩の補強材に



⑫ 路肩も補強し、この日の整備完了



付録① ヤマジノホトトギス



付録② 今年の蛙

